

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日、職員間での情報共有、目標や行動、プログラムの振り返りをしています。また、個別を担当しているスタッフと小集団スタッフとでお子さまの目標設定の振り返りを行うことで業務改善を進めています。		管理者がいない日でも、情報共有・振り返りをしています。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	他事業所間での情報共有やプログラム、研修内容等、情報交換をしながら良かった点や改善点等の業務改善を図っています。		継続していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	内部研修では、虐待防止・身体拘束・パワハラ防止・同時、継次処理・新版形式発達検査2020・お子さまへの身体の不調への理解と関わり方・就学相談・請求事務制度関連・ICT活用した学習について・WISC-V知能検査・カウンセリング・お子さまへのかかわりについて等を行っています。外部研修では、難治性起立性調整障害、子どもの発達を支える効果的な対応、障害者虐待対応力向上研修、WAIS-IV、リタリコ等の研修を受けており、日々研鑽しています。		スタッフの資格や経歴、好きなことを玄関に掲示しています。学期ごとに1回内部研修を行っています。今後も積極的に研修などへの参加を行い、職員の資質向上に努めていきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・WISC-IV知能検査やKABC-II心理検査、行動観察、保護者の方からの聞き取り等の多角的な視点からアセスメントを行い、支援計画を作成しています。 ・お子さまご本人の願いや将来への思い、保護者の方の願いに即して作成させていただいています。	はい97.4% どちらでもない0% いいえ0% わからない2.6% ・気にし過ぎかなと親が思うことでもお伝えすると「教えていただいてありがとうございます。」とおっしゃっていただけるので、安心して相談ができます。	お子さまを一番にご理解されているのは保護者の方なので、どのような情報でもお伝えして頂けると幸いです。教えていただいたことを職員間で共有しお子さまの支援につなげていきたいと思っております。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別でお友だちとの関わり方の練習を行ったり、お仕事課題を先に支援員と1対1で行ってから集団活動の中でも実践するなど、個別と集団が連動するような療育も行っています。		継続していきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	短期目標では1ヶ月～6ヶ月でお子さまが達成できそうな項目にポイントをしぼり、普段の様子や保護者の方の聞き取り等を参考に具体的な支援を検討しています。支援目標を達成するために、具体的にどのような働きかけが必要か(例えば、自分で時間管理ができるようになるため、①タイマーを鳴らして声掛けをする。②タイマーを自分でセットする。③自分で時間を見て行動する等)について記載し、作成させていただいています。	はい97.4% どちらでもない0% いいえ0% わからない2.6% ・サービス計画書に基づき支援が行われている場面を見ていないので分かりません	・支援目標を達成するために、具体的にどのような働きかけが必要かについて記載し、作成させていただいています。今後もお子さま一人一人に応じた支援目標、支援内容が設定できるように、お子さま、保護者の方やスタッフ同士で十分な話し合いをしていき作成に努めます。 ・個別では支援計画をもとに日々の療育を行っております。行いました療育内容はご利用日にスケジュールに書いてお伝えさせていただいておりますが、もしご不明なことがございましたら、いつでもお尋ねいただけたらと思います。
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画に沿って日々の活動内容を検討し、支援計画以外でも必要と感じる項目は、お子さま・保護者の方と相談しながら療育のプログラムに取り入れるようにしています。	はい100% ・短期目標、長期目標を設定しているおかげで小さな目標をこなして積み上げていき長期目標へと繋がる希望と母親としてもわかりやすく助かります。 ・褒められたこと、本人とても覚えており、家でも嬉しそうに話してくれます。	今後も継続して、支援計画に沿った支援を行い、お子さまの良いところを伸ばしていきたいと思っています。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	SST・制作(ビジョントレーニング)・運動のプログラムについて2名以上のスタッフでチームを組んで立案し、立案したものをミーティングの中でも協議し、それぞれの活動をしています。プログラムを実施後、ミーティングで反省点や良かった点等を報告し、次のプログラム作成や実施に活かせるようにしています。		継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は学校終了後のため、宿題や余暇など本人の気持ちや体調等に応じて活動する順番を考慮しています。長期休暇時にはお買い物学習等、社会体験の一環として、普段できない活動を取り入れ、楽しく生活習慣が身に着くようにしています。休日は体を休めることも考え、宿題の提供内容や枚数を決めています。		継続していきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・小集団活動では、1週間ごとにプログラムを変更し、SST、制作、運動、手先のお仕事などの活動を行っています。また、計画したプログラムでもその日のお子さまの様子に合わせて柔軟にアレンジし、参加しやすくなるよう工夫しています。 ・個別療育では、お子さまの理解度に合わせたり、興味のあることなどを取り入れたり、お子さまと保護者の方からのニーズをお聞きしたりしながら内容を考えています。 ・長期休暇時にはクッキングやお買い物学習等、普段と異なる活動をしています。	はい92.3% どちらでもない2.6% いいえ0% わからない5.1% ・今は入ったばかりで、宿題も迷路が多いですが、追々色々やっていただけたのだと思います。よろしくお願ひします。 ・子どもの興味があるものを調べていただき好奇心を刺激していただき感謝しています。	・日常のお仕事・運動・SST・制作活動は今後も引き続き、毎週、異なるプログラムを実施していきます。 ブログ: https://cocotoko.com/ Instagram: https://www.instagram.com/feel_since2017/ ・今後もお子さまの興味のあるものを療育内容や宿題に取り入れ、楽しく課題に取り組めるようしていきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	週初めに各プログラムの教示方法や注意点についてスタッフでロールプレイや話し合いをして、プログラムの流れがイメージがしやすいように工夫しています。個別療育で使う席の配置や小集団活動でのプログラムの役割分担についてシートを活用して決めています。また、毎日のミーティングの中でその日の職員の動き、一人一人のお子さまへの声かけの仕方や遊びの提供方法を話し合っています。		継続していきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	小集団活動での取り組みについてのチェックリストや次に出勤するスタッフに情報が共有できるようにメモ等で引継ぎを行っています。		継続していきます。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個別療育、小集団療育ともに保管用の記録と保護者向けのスケジュールを書いています。ミーティングを通して、気になったことやよかった支援などを話し合い、よかった支援はスタッフで共有して継続しています。また、家庭や学校、フリースクールでのお話の中で、より細かなお子さまの状況を教えていただくことで、より多角的な面から検証し、必要に応じて支援の改善を行っています。		継続していきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	ミーティングの中で計画の見直しを行い、1～6ヶ月に一度はモニタリングを行っています。		継続していきます。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	日程調整ができた時には、児童発達支援管理責任者、個別担当が出席し、情報共有や役割分担について話し合っています。		継続していきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在、医療的ケアが必要なお子さまはご利用されていませんが、保護者の方のご要望に応じて保健、医療、障害福祉、学校との情報共有や支援会議を実施しています。		継続していきます。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在、医療的ケアが必要なお子さまはご利用されていませんが、お子さまが通院している病院との連携のため主治医からのアドバイスを参考にさせていただいたり、協力医療機関(あだちこども診療所:加古川)と情報提供・共有をさせていただいています。		継続していきます。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	児童発達支援や、小・中学校との間で、必要に応じて支援方針や方法、対応について情報共有させていただいたり、小・中学校への保育所等訪問支援を通じてより細かな移行支援につながるよう働きかけています。		継続していきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	保護者の方に同意を得たうえで、ご本人のこれまでのご様子や療育の内容について情報共有を行っています。		継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	各スタッフが学会、LDセンター、等の専門機関や兵庫県主催の研修を受けています。		継続していきます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	今年度は交流する機会がありませんでした。	はい23.1% どちらともいえない17.9% いいえ20.5% わからない38.5%	今後活動できる機会がありましたら検討したいと思っています。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	自治会や清掃活動等に参加し、地域の方と交流することで、どのような事業所かを知らせてもらい、ご相談しやすくしています。		継続していきます。
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	最初のご契約時に、支援計画の内容、利用者負担等についてご説明させていただいています。変更があった際には、その都度ご説明させていただき、同意をいただいております。	はい94.9% どちらともいえない2.6% いいえ0% わからない2.6%	今後も継続していきたいと思います。また、ご質問等ございましたら、いつでもお尋ねいただけたらと思います。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画の書類を提示しながら、支援目標や支援方法についてご説明させていただき、その中で成長していることや気になること等について保護者の方と情報共有したり、対応についてのアドバイスをさせていただいたりしています。	はい97.4% どちらでもない0% いいえ0% わからない2.6%	継続していきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	2023年度はZOOMにてオンラインでの研修会と保護者交流会を、5月「継次処理・同時処理」・7月「就学相談に向けて」・9月「ICTを活用した学習」を開催しました。11月は研修は行わずに、直接事業所でお会いしての対面で保護者様同士が親睦をはかることをメインに「子どもとの向き合い方について」を開催する等、計4回の研修を行いました。研修を通して、お子さまの特性を知り、活かす方法や将来を考える機会につなげ、学校などの関係機関との話し合いに役立つようにしています。	はい94.9% どちらでもない0% いいえ0% わからない5.1%	今後も保護者の方に参考にしていただけるような研修を準備し、交流会等を開催して参ります。 YouTube: https://www.youtube.com/@user-ji6tv9jg2e/videos
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・個別療育での状況や課題はスケジュールに記載してファイルに挟んでお渡ししたり、取り組まれた課題を一度ご家庭に持ち帰っていただいたりしております。 ・小集団の様子はお迎えに来られた際に口頭でお伝えしています。 ・お子さまの対応や学校との連携については、随時お時間をとらせていただき、ご相談させていただいております。	はい92.3% どちらともいえない7.7% いいえ0% わからない0%	引き続き、お家でのお子さまの様子を教えていただき、事業所でのお子さまの様子もお伝えできるようにしていきます。また円滑に情報共有が行えるよう、必要に応じて出来る範囲でそれぞれの方に対応もしていきたいと思っておりますので何かあればご相談していただけますと幸いです。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・随時、ご相談に応じたり、気になることや嬉しく感じたことがあった場合にはこちらからも保護者の方にお伝えさせていただいております。 ・ご希望の方には継続したカウンセリングも行っています。	はい94.9% どちらでもない2.6% いいえ0% わからない2.6%	継続していきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	ペアレント・トレーニングの研修会後に「保護者交流会」を開催し、保護者の方同士でお話していただけるような機会を設けております。平日だけでなく土曜日にも開催することで出席していただきやすくなり、ご検討いただけるように早めにご案内を配布したりしています。研修後の「保護者交流会」では普段のお子さまとの関わりで気になることや上手くいった対応等についてお話しいただいております。	はい92.3% どちらでもない2.6% いいえ0% わからない5.1%	2024年度もより多くの方が参加していただけますよう、同じテーマでいくつかの日を予定したり、土曜日に設定したりしております。また、保護者の方同士がゆっくりと交流できるよう、長めの時間を設定させていただいております。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・契約時に苦情相談の担当者や事業所以外での窓口についても説明しています。 ・普段から気になったことを相談しやすいよう関係づくりに努めて参りたいと思っています。	はい87.2% どちらともいえない0% いいえ0% わからない12.8%	継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さまや保護者の方とお話をする時には、口頭だけではなく、メモやLINE、メール等、後で見ても分かる形にしています。正確な情報共有を行えるよう、お電話や直接お話しさせていただいた内容を改めてメモやメール等でお伝えすることを心掛けています。 ・お子さまの特性によって、文字を紙に書いたり、絵で表したり、大事な話を先にしたり、複数回に分けてお伝えしたりしています。 ・毎回ご利用時にスケジュールを活用してお子さまの取り組みの様子や、保護者の方からコメントを書き込めるようにお持ち帰りいただいています。 ・必要に応じて、LINEやメール、お電話のお問い合わせを受け付けています。 	はい100%	今後も引き続き、正確な情報共有を行えるよう配慮させていただきます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	<p>活動内容は第一土曜日にブログやInstagramにアップしてお知らせしています。行事やアンケートがあるときにはお便りを配布したりLINE等でお知らせの配信をしています。</p> <p>月に1回お子さんへの対応等についてYouTubeで発信し、いつでも見られるようにしています。また、ホームページに内部研修の資料を掲載しています。</p>	はい97.4% どちらでもない0% いいえ0% わからない2.6%	今後も継続して、玄関に活動の内容を掲示したり、ブログに活動の様子を掲載させていただきます。また、アクセスしやすいよう、Instagramにも活動の様子を掲載させていただいております。引き続き、個人のスケジュール表にも詳細を記入していきたいと思えます。個人のスケジュール表にも詳細を記入していきます。 ブログ: https://cocotoko.com/ Instagram: https://www.instagram.com/feel_since2017/
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時の個人情報についてはアンケートをもとに、玄関やブログの掲示を考えたり、個人情報は鍵付きの書庫に片付けたりしています。またご利用の方の個人情報は鍵がかかる場所に保管し、閉所後は施錠しています。 ・スタッフとの雇用契約時に個人情報の秘密保持を厳守するよう説明しています。 	はい97.4% どちらでもない0% いいえ0% わからない2.6%	スタッフには雇用契約の際に個人情報の取り扱いについて注意喚起を行っております。またご利用の方の個人情報は鍵がかかる場所に保管し、閉所後は施錠しています。引き続き個人情報の秘密保持を徹底に厳守していくように努めます。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の対応については契約時に説明し、防犯についてはSSTプログラムの際に避難訓練や不審者対応等を行っています。各マニュアルはどなたでも閲覧・確認していただけるようにホームページの「療育事業」のページに記載しております。 ・感染症についてはマニュアルに基づいて対応を行っています。 	はい92.3% どちらでもない0% いいえ0% わからない7.7%	継続していきます。保護者にお渡しするスケジュールに避難訓練が行われたことを記入しお知らせします。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・地震・不審者・水害・てんかん発作等への対応や避難訓練を実施し、水やお菓子、非常食の備蓄をしています。避難先でスムーズに保護者の方へ引き渡しができるよう、避難訓練を学期ごとに1回以上実施しています。 	はい94.9% どちらでもない0% いいえ0% わからない5.1%	引き続き、避難先でスムーズに保護者の方へ引き渡しができるよう、避難訓練を学期ごとに1回以上実施していきます。また、引き渡し時にすぐに対応できるように住所等内容に変更があった場合は、その都度変更を行っていきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	新人スタッフ、継続スタッフそれぞれに虐待防止の研修を行ったり、毎日のミーティングの中でお子さまへの対応について話し合ったりしています。		継続していきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束を行う場合は保護者の方へ書面を添えて十分な説明を行い、了承を得た場合、ご署名をいただいております。半年に一度、職員間で話し合いをし、見直しを行っています。合わせて保護者の方へ報告させていただいております。		継続していきます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーの指示書の対応が必要な場合は記載していただき、支援員がすぐに確認できるようにお子さまのお名前と食べられない食品名をキッチンやおやつ棚に明記しております。		継続していきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ご利用されるお子さまが安全に過ごせるように、環境面、玩具の使用、関わり方についてその都度ミーティング等で対応を協議し、ヒヤリハット報告書を作成し職員間で共有しています。また、大久保・小久保・小久保Ⅱにも個人情報を伏せて情報共有を行い、再発防止に努めています。		継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・通所を楽しみにしています ➡通所を楽しみしていただいているとのことうれしく思います。これからも行きたい場所、楽しみな場所となりますようスタッフ一同、努力してまいります。 ・子どもだけでなく、親へのサポートまでしていただけるおかげで、気持ちがとても軽くなり感謝しています。 ➡いつもご理解ご協力いただきありがとうございます。今後もお子さま、ご家族様に寄り添い、その時に必要な、きめ細かな支援に繋がっていきけるようにしていきたいと思ひます。 ・いつも子どもに寄り添ってくださり、ありがとうございます。親子で頼らせていただいています。子どもの個性を認めて得意を伸ばそうとてくださるところに深い感銘を受けています。これからもよろしくお願ひいたします。 ➡保護者の方に、いつもお子さまのお家や学校でのご様子や関わり方を伝えて頂いてることで支援に繋げることができるため感謝しております。これからもお家での様子をお聞きしたり、こちらでのお子さまのすごいところ、頑張っているところをご家族様にお伝えしたりすることで、一緒にお子さまの成長を喜び、これからの成長に繋がっていきたいと思ひております。 ・先生方の辛抱強い対応、優しい言葉の声掛けのおかげで、娘は大人にも信用出来る人がいると分かり、O・T先生をはじめフィールの先生には学校への登校へのバックアップ。在学中のフォロー。娘の心のケア。たくさん助けていただいています。娘の笑顔を取り戻して下さりありがとうございます。先生方には感謝しかありません。 ➡保護者の方にはいつもお忙しい中、こちらへ送迎していただき、ありがたく思ひております。今後もお子さまにとって過ごしやすい場所となるようスタッフみなでお待ちしております。 ・社会で生きていくために必要なルールや、人を傷つけないような断り方などのコミュニケーションなど様々な事を学ばせていただきありがとうございます。 ➡こちらこそありがとうございます。これからも保護者の方やお子さまに寄り添い、お子さまの特性やペースに合わせて、社会でより楽しく生きていけるように療育内容を考え、ご提案していきまひす。 ・いつもお世話になり、ありがとうございます。今後ともよろしくお願ひします。 ➡こちらこそいつもありがとうございます。これからも何かございましたら、いつでもお話しいただけますと幸いです。 ・癒されに行っています。フィールの先生方のあたたかい感じが好きなようです。 ➡ありがとうございます。お子さまにとって居心地の良い場所となりますよう、スタッフ一同、お待ちしております。 ・とてもとても楽しみにしています ➡楽しみにしていただいているとのこと、とてもうれしく思ひます。これからもよろしくお願ひいたします。 			